

認知症作業療法 活動報告 (概要)

和歌山県作業療法士会では、市町村からの依頼に対して県士会員を派遣し、認知症予防の講話や体操の指導を行なっている。認知症初期集中支援事業に関しては委託を受けた病院のOTがチームに参加している。認知症アップデート研修は11月～12月下旬に開催する予定。認知症と作業療法士の啓発活動としては作成したパンフレットを研修会や所属病院の院外向けのイベント等で配布している。

認知症初期集中支援事業

平成29年度より、和歌山市認知症初期集中支援チームのチームのチーム員として作業療法士が着任している。

介護支援専門員と連携を図りながら、支援対象者の支援方針をたて支援を行なっている。又地域で行われる講演会・研修等に参加することで自己研磨に努めている。

認知症アップデート研修

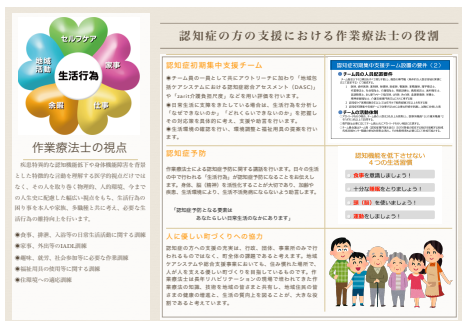
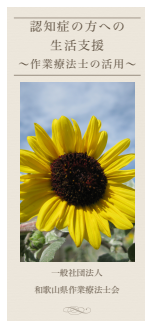
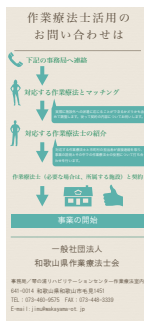
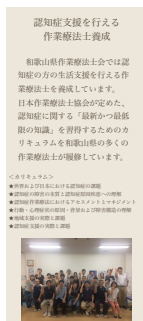
今年度は11月～12月下旬に一回開催する予定。今後の連携も踏まえて県内全ての地域包括支援センター職員を参加対象とする予定となっている。

介護予防・日常生活支援総合事業

和歌山市では理学療法士・作業療法士・言語聴覚士による『WAKAYAMAつれもて健康体操』を実施。作業療法士は其中で認知症予防講座と体操として認知症予防に効果的な生活習慣の紹介や運動との関係について話している。

啓発活動事業

『認知症の方への生活支援～作業療法士の活用～』として認知症の方の支援における作業療法士の役割や作業療法士の視点、作業療法士活用の際の問い合わせ先等記載したパンフレットを2017年度に作成配布している。今年度も引き続き研修会や一般向けのイベントにて配布していく。



今後の展開

- ・ 認知症アップデート研修の継続と認知症に関する研修会の開催
- ・ 認知症初期集中支援事業への参加
- ・ 認知症予防事業への参加